

【演題名】

「歯科技工士も知っておきたい災害歯科保健概論」

高山 幸宏(一般社団法人広島県歯科技工士会 常務理事)

「災害時における暫間的な義歯製作方法の一例」

白井 政博(一般社団法人広島県歯科技工士会 会長)

【抄録】

未曾有の大規模災害が発生した場合、多数の地域住民が避難生活を余儀なくされる事態が想定される。被災者の中には、義歯を紛失する方、著しい環境の変化と避難生活の長期化で口腔内環境が悪化し義歯が不適合になる方など様々な症状を呈する方が現れることが報告されており、そのような被災者は避難生活における生活の質(Quality of Life:QOL)が著しく低下してしまう。このような災害時に、歯科技工士は義歯の紛失・破損に対して大きな役割を果たすことができる。

本講習会ではこのような大規模災害を想定して、「歯科技工士として知っておきたい災害歯科保健概論」と、災害時に義歯を製作する際の選択肢の一つとして役立つように、「災害時における暫間的な義歯製作方法の一例」をご紹介させていただく。

【講演時間】

10:00～10:50 災害歯科保健概論

5分休憩

10:55～11:20 災害時における暫間的な義歯製作方法の一例

11:20～11:30 質疑応答